



ふじ美が原

令和3年度最終号

富士見中学校

「星煌」をテーマに、生徒会員の個性を引き出し、力を結集させて学校を創造してきた卒業生

3学期終業式・第12回卒業式

四恩に謝す

最初にやる勇気 守破離 凡事徹底

三学期終業式

一年の学び

一年一部 上田 そら

中学校最初の一年で、私はたくさん
のことを学びました。その中でも私が
特に学んだことは「友達」の存在です。
一年を振り返ってみたときに、自分
の周りにはいつも友達がいいて、入学し
たときから自分の笑顔が増えたことに
気づきました。そして、その笑顔を決
やさない雰囲気を作ってくれたのが一年
一部でした。

初めての白鈴祭では、クラス一丸と
なり、皆で協力した結果、体育祭で三
つの賞状をとり、合唱祭では一歩らし
い地球星歌を歌いきることができまし
た。どれも皆の協力からできたもので
す。とてもよい思い出になりました。
ですが、今私が「この一年で一番思
い出に残ったことは何か」と問われた
ときに答えるのは、白鈴祭でも合唱祭
でもなく、教室で友達と過ごした毎日
です。このクラスは、頭のいい人たち
がそろったわけでも、元々仲の良い人
たちが集まったわけでもありません。
初めは顔も性格も知らない人がたくさ
ん集まった教室でした。だからこそ私
はすごいと思います。ここまで一緒に
いて楽しめる存在にさせてくれたクラ

スの友達と萩原先生に感謝です。

こう思わせてくれたのはクラスメイ
トだけではありません。休日や放課後
に勉強を教えてくれたり遊んでくれた
りした友達も、会うたびに声をかけて
くれた先輩もいます。

入学当初は小学校で仲のよかった友
達とクラスが分かれてしまい、自分も
その子のクラスに行きたいと思ったこ
ともありました。ですが、今は一部で
よかったと思っています。一年一部三
十五人の教室ではたくさんの方と学
び、このクラスでしかできないことや
思いをたくさんしてきました。毎日一
緒にしようもないことをする友達も、
この作文を書く前にとってもプレッシャ
ーをかけてくる担任の先生もいます。
帰りの会でおジャ魔女カーニバルを歌
い、サンタさんがいるかいないかとい
う議論でもめ、毎日くだらないことを
して過ごしてきました。ですが私はこ
の毎日がとても楽しかったです。

次は学年が上がって先輩になります。
格好悪い姿を見せないようにして行き
つつ、今までの楽しさを忘れないよう
にしていきたいです。
この一年、クラスや友達のおかげで
本当に楽しく過ごせました。
そして最後にしっかりと「ありがとう」
と言って終わりたいです。

この一年を通して

二年三部 五味 勇人

自分は、この一年、大きく変わった
ところがあります。まず一つ目は、部
活動です。三年生が引退し、自分たち
が指導していく立場となりました。や
っぱり苦戦して、キャプテン・部長・
メンバーとのぶつかり合いが起きてし
まい、うまくいかないことがありまし
た。でも、それがあったからなのか、
チームは盛り上がり、大会では雰囲気
良く、良い結果が残せました。そして、
三学期、二年生としての初めての冬の
練習が始まりました。今までは、先輩
方が指導してくれていたもので、分か
らなかつたのですが、実際にこの立場に
立つと難しく、第二の壁にぶつかりま
した。そして、新型コロナの急激な増
加により、練習ができなくなりました。
この中でも名監督の若林先生、キャプ
テン、部長がこの時期でもチームのこ
とを考え、動いてくれることに感謝し
ています。こんな時期で、この時期な
りの行動を考えられた部活動となりま
した。
そして、二つ目です。二つ目は、「前
に立つ」ことです。自分は今、規律委
員会副委員長として活動しています。
自分は、「こんな僕で良いのか」、「学

校のために動いているのか」など時々不安になります。もともと、前に立つのが苦手でした。自分は、1学期、2

学期と代議員として活動していました。中学に入って初めて、前に立つ事に携わらせて頂きましたが、やっぱり不安で、何も出来なかつたです。その中でも副委員長に選ばせて頂きました。活動していくに連れて、三年生の偉大さが身に染みてきました。堂々と前に立ち、みんなをまとめてくださった姿が印象に残っています。やはり、前に立つことが、自分を変えるんだなと3学期に入り、分かりました。

そして、次は三年生への抱負です。自分は三年生では、課題である「前に立つ」ということを中心に動きたいと思います。三年生が卒業し、新一年生が入ってきてと、環境が変わっても、自分が前に立ち、この学校を盛り上げられる存在になりたいです。楽しむことが一番なので、楽しんでいきたいと思えます。

最後に、自分はこの一年を通して、環境に恵まれたなと思います。企画力のある三年生の下で、行動力のある二年生、一年生。たぶん自分だけでなく、一、二、三年生全員が成長できた3学期になったのではないかと思います。この3学期に学んだ「前に立つ勇氣」

を忘れずに動いていきたいです。ありがとうございました。

一年間を振り返って
三年三部 桑原 汐理

今年度の3学期は、私たち三年生にとってとても大切に特別な日々でした。そんな3学期が終わろうとしている今、充実感と少しのさみしさを感じています。

この三ヶ月間は三学年全員が「受験」というものと向き合ってきました。私自身も不安で不安で仕方なく、たくさん悩みましたが、そんな中でも頑張れたのは、たくさんの方に支えてもらったからだと思っています。先生方や家族などから何度も勇氣ももらいました。そして何より、一緒に受験に向かい頑張った三学年の仲間にはたくさん救われたような気がします。「みんな頑張っているのだから、私も頑張ろう」と思い、それがモチベーションにつながりました。

また、この三ヶ月間、私は一日一日をより大切に過ごすことを意識してきました。今の仲間や先生方とひとつの教室で時間をともにすることは、きっとこの先、二度とないと思います。だからこそ、ささいなことでも楽しく思えたしコミュニケーションを大切にして過ごしました。

また、3学期からは二年生を中心とする生徒会が始まりました。企画もいくつか行われてきましたが、二年生はもちろん一年生も生徒会に対する意識が高いように感じ、三学年の一人としてとても嬉しく思います。一、二年生が頑張っている姿は、私にとってすごく良い刺激になりました。最後に、私は四月から新たな場所です生活することになります。楽しいこと大変なこと、どちらも待っていると思います。自分の夢を見つけられるため、いろんなことに挑戦していきたいです。中学校生活で培ったことも大切に、充実した日々を過ごせたらいいなと思います。

終業式 学校長の話

皆さん、おはようございます。おぼえていますか？足は何のためにあるのですか。……足は自分を守るためにある。そして、足は大事な人を、大事な何かをさがすためにある。逃げて、さがして、動いて、動いて……していますか？

さて、四十七日間の3学期が終わりました。ただ今、三人の生徒の皆さんの話を聞きました。一年一部上田そらさんは、一年目の中学生生活を終え『友達存在』を強く意識していました。友達と行ってもクラスメイトはもちろん、その他の仲間や先輩方も含めて、そういう仲間の中

で生かされた自分に感謝の思いを「ありがとう」と表現してくれました。二年三部の五味勇人さんは、部活動をとおして、役割が自分を成長させてくれていることやその役割を楽しんで行うことで、勇氣が生まれてくることを話してくれました。そして、「ありがとう」がございました」という言葉で締めくくっていました。

三年三部の桑原汐理さんは、受験をとおして、自分を支える仲間、先生、家族から多くの勇氣をもらい続け、進路に向き合うことができたこと、そして、今は新たな生活に向けて挑戦する気持ちで湧いている事を教えてくれました。

三人の話から共通していることは、私たちは「感謝」の気持ち大切に、与えられた場所で精一杯取り組み続けられ、それが自分の「やり甲斐」や「生き甲斐」となって自分を成長させていくということ。感謝の思いをいつも繰り返して、声や言葉に出していくことで一歩成長することになることを三人が証明してくれました。つまり成長の条件は感謝の心であるということ。です。

さて、令和三年年度の富士見中学校の活動も明日の卒業式を迎えるまでと終わりました。

この一年、私は学期ごとに皆さんに期待を込めて一学期は「最初にやる勇氣」二学期は「守破離」、三学期は「凡事徹底」をキーワードとして話をさせていたいただきました。皆さんは自分のおかれた立場や自分の願いを大切にしながら、この一年学校生活を送ったことと思えます。

この三学期は次のステージを迎えるための準備をする学期でもありました。一年生は中堅学年として、「学校の柱」となるため。二年生は最高学年として「学校の顔」になるため、三年生は「卒業」そして四月からの新しい生活のため。それぞれ着実に一歩一歩を進めてくれたのではないかと思います。

私が教わった教えに「四恩に謝す」という言葉があります。黒板に掲示していた言っている言葉です。これは、四つの恩に感謝すると言う意味です。一つ目は親に感謝です。二つ目は学校・地域・国に感謝です。三つ目は先生・大人に感謝です。四つ目は仲間への感謝です。これら四つは失ったら困るものばかりです。

いよいよ明日は卒業式です。感染予防のため、一、二年生は教室での参加となりますが、どうか、卒業する三年生の最後の姿から、自分はどうな姿でこの日を迎えるか、一年後、二年後の自分の姿と重ね合わせながら、今年一年の「四恩」に感謝しながら参加してください。

そして、これまでの中学生も経験したことのない中学校時代を過ごした三年生。君たちは本当によく頑張りました。今ここにいて自分に自信を持ってください。本当に素晴らし三年生でした。君たちの卒業を迎えられて誇りに思います。堂々と胸を張って卒業していきってください。

明日は全校の一人一人が感謝の思いを巡らせ、新しい自分の一歩としまし

第十二回卒業証書授与式

式辞

躍動する春の息吹が次第に高まりつつあるこの佳き日に、富士見町立富士見中学校第十二回卒業証書授与式が、地域の皆様のご尽力おかげで、保護者の皆様と共に挙行できますこと、私たち教職員にとりましてこの上ない喜びでございます。皆様に熱く感謝申し上げます。

只今、卒業生一六名に卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんの晴れの門出を心より祝福いたします。

今、皆さんの脳裏には、中学校三年間の出来事について様々な思いが蘇っていることと思います。私が皆さんと出会ってから一年が過ぎようとしています。この一年は富士見中学校の顔として、授業、校内生活、生徒会活動、白鈴祭、体育祭、合唱祭、部活動などで、真剣に打ち込む皆さんの姿や、一、二年生をリードしていく姿、仲間と共に自己を高め合っている姿に接し、皆さんのたくましさ、頼もしさ、向上心を感じてきました。

四月には「ただいま」「お帰り」の温かい言葉でコロナから全校生徒を守り抜いた三年生の人柄は、本校の大切な校風の一つとして確かな姿を残してくれました。

また、厳しい練習環境の中、皆さんがつかないできた歌声も、合唱祭の復活として、後輩達の脳裏に焼き付けてくれました。どれも、これまで多くの卒業生が過ごしてきた学校生活とは比べられないような困難さがありましたが、三年生の持ち味であるアイディアと行動力で駆け抜けてくれた一年でした。

私は常々、「中学校生活は社会人になるための基礎を養うところだ」と考えています。社会人の基礎・基本、それは「当たり前」のことを当たり前にする「ことだ」と考えます。

あいさつができる。時間が守れる。自分を大切にできる。人の痛みがわかる。感謝の心を忘れない。決して派手でなく、平凡であっても、これが大切です。これからの人生いくつものハードルが待ち構えているでしょうが、「勇気」をもって自分の足で確かな歩みを進めてください。

今日の卒業証書授与式は、卒業生の皆さんの新たな旅立ちの時でもあります。ゴールラインはスタートラインです。希望と夢を膨らませ、自覚と決意を新たに、堂々と富士見中学校を背にしてスタートラインをきってほしいと願っています。

皆さんの卒業に際し、長野県出身の国語学者西尾実先生の言葉を嚆として贈ります。

「ひと足

ひと足

山を谷をも

踏み越えよ」

いつの日か、一歩、一歩、前へと、たくましく、自らの人生を歩む皆さんに出会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様に一言お祝いとお礼を申し上げます。お子様のご卒業、誠にありがとうございます。中学校時代は、おめでとございます。中学校時代は、心身共に大きく成長する時期で不安も伴い、ご苦労もあつたかと思えます。

中学校三年間、そして義務教育九年間の終了に際し、今日の晴れの姿をご覧になり、その喜びはひとしおのことと思います。心からお祝い申し上げます。また、この三年間は保護者の皆様はじめ、ご家族の皆様には、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りました。誠にありがとうございます。

また、今回全てのご来賓の皆様のご臨席は叶いませんでしたが、ご来賓の皆様、地域の皆様には、日頃より卒業生そして本校への温かいご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本日ご参列の皆様方のご多幸をお祈りするとともに、卒業生の前途を祝して、式辞いたします。

令和四年三月一七日

富士見町立

富士見中学校長 塩崎正昭

◇転退職員紹介◇

令和3年度末をもって転退職になる職員は、次の通りです。

(後職順)
☆久保 貴史(教頭)

長野県教育委員会
東信教育事務所主任指導主事へ

☆両角

太(教務・数学)
安曇野市立堀金中学校教頭へ

(教科順)
☆宮島

英也(三年・社会)
長野市立川中島中学校へ

☆久保

啓悟(二年・数学)
上田市立第四中学校へ

☆木村

浩美(三年・理科)
駒ヶ根市立赤穂中学校へ

☆斎藤

健治(三年・体育・英語)
小諸市立芦原中学校へ

☆三井

奈美(二年・英語)
高森町立高森中学校へ

☆原

茉莉弥(一年・英語)
長野市立信州新町中学校へ

☆池上

陽子(図書館指導員)
富士見町立富士見小学校へ

☆ラトナー・ウィルソン(A.L.T.)

ご退職

任期の長短はありますが、いずれもご家庭や地域の皆様にお支えいただいたものと感謝申し上げます。

大変お世話になりました。

令和3年度の終わりに・・・

一年間、大変お世話になりました。

本年度は、新たに133名が入学し、塩崎正昭校長先生をお迎えしてスタートしました。様々なガイダンスを経て学年・学級を作り始めた矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大により、2日間の臨時休業になるというスタートとなりました。

一昨年まで「あたりまえ」だった修学旅行や部活動・学校行事は、目的を見直し、工夫を凝らし、形を変えるなどして活動を進めてきました。

生徒たちもこのような状況を受け入れ、決められた制限の中で試行錯誤をしながら、アイデアを練り取り組んでくれました。白鈴祭も、合唱祭も、クラスマッチも、3年生をおくる会も、素晴らしい富士見中生の姿を見せてくれました。

PTA活動も変更を余儀なくされ、保護者の皆様にもご協力を得なければならぬことが数多くありました。そんな中、沢山の教育活動が無事行えたのも、ひとえに保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。

そして本日、無事、第12回卒業証書授与式を挙行することができました。116名の卒業生が、今後も健康で活躍されることをお祈りしております。又、4月より2・3年生となる在校生には、ますますよい学校を創り、ともに伸びていって欲しいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年間、大変お世話になりました。来年度以降も引き続き富士見中学校の教育活動にご協力いただきますよう、お願いいたします。学校職員も全員で力を合わせて精一杯努めたいと存じます。



○春休み中の生活、外出等について

3/18から春休みに入ります。しかしながら、まだ感染症流行の収束には至っておりません。今後の動勢により、予定や対応の変更を連絡メールでご連絡をする場合もあります。春休み中の生活について、以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

- ①事故等緊急事態が発生した時には、学校または担任に連絡をお願いします。
- ②春休みも「夏休み」「冬休み」の生活と基本的には同じです。健康で安全な過ごし方を心がけましょう。
- ③毎朝の検温、健康チェックを引き続き行い、発熱や風邪の症状があるときは無理をせず自宅で休養しましょう。特に外出時には、「3密の回避」「マスク着用」「手洗いや手指消毒」など感染予防に努めましょう。

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-62-2009

FAX 0266-62-7409

担当 両角 太